

瀬戸内サーカスファクトリー（SCF）は、フランスの現代サーカスカンパニー・バシंगा共同設立者であり技術監督であるヤン・ナーツJan Naetsと、演出に関わる大規模で複雑なロープワークを得意とするガエル・オネジェ Gaël Honnegerの2人を招き、技術創作ラボラトリーを実施します。このラボラトリーは、2025年度に予定しているSCFの新作「DADDA」創作の第一歩として、サーカス舞台表現の新しい扉を開くリギング（器具設置）技術の探求と実験の場です。KAAT神奈川芸術劇場大スタジオにて実施します。

カンパニー・バシंगाは、パリのモンマルトル寺院に向かって張られた高さ35mの綱渡りや、都市の広場や渓谷など、あらゆる環境に高綱渡りを登場させる器具設置技術と経験をもつ、まさに世界トップのチームと言えるでしょう。今回来日する2人の技術者は、綱渡りだけでなく、空中ブランコや空中を滑るように移動する「チロリエヌ」の仕組みなど、舞台上の空中の演出の固定概念を取り除く、さまざまな提案と伴走を行います。

このラボラトリーは、「DADDA」という本格的な現代サーカス創作のプロジェクトの一環として、フランスの現代サーカストップランナーたちの「器具設置技術（リギング）」の知識と経験を共有してもらいながら、日本の現代サーカスの未来の創作を担うアーティストや技術者を育てていく機会ともなります。

このたび、本プロジェクトにサーカスアーティスト1人、技術者1人を公募いたします。向上心と意欲のあるアーティスト、技術者のご応募をお待ちしております。

#### ■プログラム内容：

KAAT大スタジオにて、「DADDA」創作イメージの中で、ロープワークを中心に、空中を使った身体・道具・器具を組み合わせた、さまざまな新しい表現を探求、実験します。

最終日8月25日には大スタジオにて、トークと具体的な成果を交えた公開報告会を実施し、参加者も登壇していただきます。（詳細は後日発表）。

■実施日程 2024年8月19日（月）～25日（日）※25日は公開報告会

■会場 KAAT神奈川芸術劇場＜大スタジオ＞

■募集人数：サーカスアーティスト：1名  
舞台技術者：1名

■応募締切：5月17日(金)23:59

#### ■応募資格：

・サーカスアーティスト

プロのサーカスアーティストであり、基本的に空中芸（エアリアルティシュー、トラピーズ）や綱渡りを対象と考えています。ただし、アクロバットなど強い身体性を持ち、創造的なサーカス作品づくりに強い関心のある方も募集対象となります。全日程参加可能な方で、2025年度以降の「DADDA」創作に関心のある方。

・舞台技術者

舞台監督、大道具、あるいはハリガー（器具設置技術者）のプロとしての実績が3年以上あり、現代サーカス創作の技術チームの仕事に関心がある方。

本期間中、フランス側技術者の指導による作業以外にも、必要な技術作業に参加していただきます。

#### ■報酬

1人税込70,000円（10,000円×7日相当、交通費込み）を支払います。参加者の保険は主催側にて加入いたします。

■応募：Googleフォームで申し込み ※締切期日・時間後の受付はできません。

■お問い合わせ：一般社団法人瀬戸内サーカスファクトリー Email: info@scf.or.jp

#### ■募集スケジュール：

5月17日（金） 書類申し込み締切

6月10日（月） までに書類選考結果通知

6月15日～20日 オンライン面接

6月25日（火） までに最終結果通知

8月19日～25日 KAAT大スタジオにてラボラトリー実施



SETOUCHI  
CIRCUS  
FACTORY

瀬戸内サーカスファクトリー

申し込み用  
QR⇒

